

我が家の フラワー

3 キンギョソウ

キンギョソウはゴマノハグサ科アンティリヌム属の植物で、厳密にいうと多年草ですが、園芸的には一年草として扱われています。地中海沿岸地方が原産地です。キンギョソウという和名の由来は、花の形が金魚に似ていることからきています。

寒さに強く、花色も非常に豊富なので、冬から春にかけての花壇の植物材料として適しています。また、品種も切花用に適している高性種や花壇に向くわい性種、中高性種があります。花形もいろいろあり、金魚型だけでなく、蝶型、一重咲きだけでなく八重咲きもあります。



【管理のポイント】

- ① 植え場所：日当たりと水はけのよい場所（用土）を好みます。用土に元肥として堆肥や腐葉土などの有機肥料を施しておくといでしょう。
- ② 水 や り：寒い時期はあまり必要ありません。春を迎えると生育が旺盛になるので、土の表面が白く乾いたら、たっぷり与えます。過湿では生育が悪くなります。
- ③ 肥 料：控えめにします。生育の鈍い冬季には必要ありません。春になったら緩効性肥料を月に一回程度施します。
- ④ 種 ま き：発芽適温は15～20℃で、好光性種子です。発芽まで約五日かかります。6～9月に播種すると開花期間は10～5月、2～4月に播種すると開花期間は6～8月になります。

ガーデニング

県園芸総合センター

竹内 小百合



4 クリスマスローズ

クリスマスローズは、キンボウゲ科ヘレボルス属の耐寒性多年草です。ヨーロッパ南部からアジア西部が原産地で、約20種が分布しています。一度根づけば、後は放っておいてもよく育ち、よく花を咲かせる手間のかからない宿根草のひとつです。

本来は、クリスマスの時期に白い花を咲かすニゲル種がクリスマスローズと呼ばれているのですが、日本でよく見られるのは、2月下旬から4月に咲くオリエンタリス種です。

オリエンタリス種は欧米ではキリスト教のレント（受難節、4月頃）に咲くのでレンテンローズと呼ばれており、紫桃色や白色の花を咲かせます。



【管理のポイント】

- ① 植え場所：もともと森林下の植物なので、明るい日陰か大きい落葉樹の下が適します。植え場所には腐葉土を混ぜて植えるとよいでしょう。
- ② 水やり：乾燥が続いたとき以外は特に必要ありません。鉢植えの場合は、乾燥しすぎないように注意します。特に秋から春の成長期と夏には葉の様子を見てしおれ始める前に与えます。
- ③ 肥料：花後に一回施す程度で十分です。
- ④ 株分け：4～5年に一度行います。時期は5～6月頃が適期です。丁寧に掘上げ、1株に3～4芽以上つけるように分けて植えます。根づくまでは水を切らさないようにして管理します。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育状態	開花			生育				開花		休眠		
置き場/日光	半日以上の日当たり											
水やり	3～4日に1回			鉢植えではふつう							3～4日に1回	
肥料	追肥											
作業	株分け、定植				さし芽		うどんこ病、アブラムシの防除					